

外来ザリガニ類が生態系に被害を及ぼすリスク一覧

凡例 ◎:被害の実例があるか、特に種を限定して被害の可能性が指摘されている、○:被害の可能性が指摘されている、

×:被害の可能性は(極めて)低い

※本資料の種の分類は、旧分類群を用いた。

※科や属については、その分類群内で1種でも被害の実例や可能性が指摘されている種があれば、◎を付けた

■:西川委員の代替案において提示された分類群。

□:今回届出のあった種・属。

■:逸見委員のご意見を踏まえ追加した種。

種類	原産地	生態系に被害を及ぼすリスク			国内流通実績 ○:過去に流通が確認されたもの、 ◎:特に2016年以降の流通が確認されたもの、 ×:情報なし
		捕食・植生破壊	ニホンザリガニとの競合	病原菌等のキャリア	
ザリガニ科Astacidae					
■ アウストロポタモビウス属 <i>Austropotamobius</i>	ヨーロッパ東部	○	◎	◎	○
■ ザリガニ科の他の全種	ヨーロッパ	◎	◎	◎	○
アメリカザリガニ科Cambaridae					
■ カンパレルス属 <i>Cambarrellus</i>	アメリカ合衆国、メキシコ	○	◎	◎	◎
■ カンバルス属 <i>Cambarus</i>	北米大陸 南東部。北はカナダのオンタリオ州やケベック州からアメリカ合衆国のニューブランズウィック州、南はアメリカ合衆国のフロリダ州のパンハンドル、西はテキサス州、コロラド州にかけての地域。アパラチア山脈の南部で多様性が高い。	○	◎	◎	◎
■ オルコネクテス属 <i>Orconectes</i> ※新分類では大部分がFaxonius属に移行。	北米大陸中央部及び東部。おおよそ70%の種は中央部の高地に生息する。	◎	◎	◎	◎
アメリカザリガニ属 Procambarus					
■ プロカンバルス・カテマコエンスイス (<i>Procambarus catemacoensis</i>)	メキシコのカテマコ湖	○	×	◎	◎
■ プレーリークレイフィッシュ (<i>Procambarus gracilis</i>)	アメリカ合衆国中央北部。アイオワ州中部とミズーリ州からインディアナ州西部にかけてのミシシッピー川とウオバッシュ川流域とウィスコンシン州南東部とイリノイ州北東部のミシガン排水路。	○	◎	◎	◎
■ プロカンバルス・ルラマシ (<i>Procambarus llamasi</i>)	メキシコ南東部。ベラクルス州南部からカンペチェ州、チアパス州、タバスコ州、ユカタン州、キンタナロー州にかけての地域。	○	×	◎	◎
■ ジャイアントベアーデッドクレイフィッシュ (<i>Procambarus tulaneii</i>)	アメリカ合衆国中南部。レッド川のルイジアナ州北部からアーカンソー州南部。	○	×	◎	◎
■ クリスマスツリークレイフィッシュ (<i>Procambarus pygmaeus</i>)	アメリカ合衆国南東部	○	×	◎	◎
■ コースタルフラットウッズクレイフィッシュ (<i>Procambarus apalachicola</i>)	アメリカ合衆国南東部。フロリダ州のフランクリン郡、ベイ郡、ウォルトン郡、ガルフ郡の沿岸湿地。	○	×	◎	◎
■ ジャックナイフクレイフィッシュ (<i>Procambarus hubbelli</i>)	アメリカ合衆国南東部。アラバマ州とフロリダ州のチョコタハッチー川とイエロー川流域。	○	×	◎	◎
■ ハチエットクレイフィッシュ (<i>Procambarus kilbyi</i>)	アメリカ合衆国南東部	○	×	◎	◎
■ リボンクレイフィッシュ (<i>Procambarus bivittatus</i>)	アメリカ合衆国。フロリダ州エスカンビア川流域、ミシシッピー州パール川流域、ルイジアナ州セントタマニー郡及びウィンントン郡。	○	×	◎	◎
■ シャギークレイフィッシュ (<i>Procambarus hirsutus</i>)	アメリカ合衆国。サウスカロライナ州エディスト川流域、サルクハッチー川流域、サバンナ川流域、コンガリー川流域、マリオン湖。	○	×	◎	◎
■ パールブラックウォータークレイフィッシュ (<i>Procambarus penni</i>)	アメリカ合衆国。ルイジアナ州およびミシシッピー州のパール川流域及びバスコゴラ川流域。	○	×	◎	◎
■ サウスウエスタンクレークレイフィッシュ (<i>Procambarus dupratzi</i>)	アメリカ合衆国。テキサス州トリニティ川流域、ネチェス川流域、およびテキサス州・ルイジアナ州境のサビー川流域。	○	×	◎	◎
■ ウォンタリパークレイフィッシュ (<i>Procambarus ouachitae</i>)	アメリカ合衆国。アーカンソー州ウォンタリ川水系及びアーカンソー川水系、ミシシッピー州ヤズー川流域。	○	×	◎	◎
■ ホワイトチューパークドクレイフィッシュ (<i>Procambarus spiculifer</i>)	アメリカ合衆国。サウスカロライナ州、ジョージア州、フロリダ州、アラバマ州。	○	×	◎	◎
■ スライクレイフィッシュ (<i>Procambarus versutus</i>)	アメリカ合衆国。ジョージア州、フロリダ州、アラバマ州。	○	×	◎	◎
■ パーシークレークレイフィッシュ (<i>Procambarus vioscai</i>)	アメリカ合衆国中央南部。2亜種あり、それぞれがミシシッピー川の東側と西側に分かれて分布する。	○	×	◎	◎
■ プロカンバルス・テズィウトランエンスイス (<i>Procambarus teziutlanensis</i>)	メキシコ東部ベラクルス州、プエブラ州のナウツラ川水源地域の支流。	○	×	◎	◎
■ エディストクレイフィッシュ (<i>Procambarus echinatus</i>)	北米サウスカロライナ州のエディスト川の源流域、ソルカハッチー川。	○	×	◎	×
■ パンハンドルクレイフィッシュ (<i>Procambarus evermanni</i>)	アメリカ合衆国のアラバマ州、ミシシッピー州、フロリダ州。	○	×	◎	○
■ ブラッククレークレイフィッシュ (<i>Procambarus pictus</i>)	アメリカ合衆国のフロリダ州のブラッククレー川水系。	○	×	◎	◎
■ フィールドクレイフィッシュ (<i>Procambarus rogersi</i>)	アメリカ合衆国のフロリダ州	○	×	◎	×
■ アメリカザリガニ (<i>Procambarus clarkii</i>)	メキシコ北東部からテキサス州中央部・南部を経てフロリダ半島に至る地域。	◎	◎	◎	◎
■ アメリカザリガニ属の他の全種	アメリカ合衆国、メキシコ、キューバ	◎	◎	◎	◎

アジアザリガニ属 <i>Cambaroides</i> ※新分類ではアジアザリガニ科に移行。					
マンシュウザリガニ (<i>Cambaroides dauricus</i>)	中国東北地区、朝鮮半島、ロシア極東。	○	◎	○	×
アジアザリガニ属の他の全種	朝鮮半島、北東アジア	○	◎	○	○
アメリカザリガニ科の他の全種	北米、中米、日本、朝鮮半島、北東アジア	◎	◎	◎	◎
ミナミザリガニ科 Parastacidae					
アスタコイデス属 <i>Astacoides</i>	マダガスカル	○	×	○	○
エウアスタクス属 <i>Euastacus</i>	オーストラリア本土南東部、東部。	○	◎	○	◎
ミナミザリガニ科の他の全種	オーストラリア、マダガスカル、南米	◎	◎	○	○

○主な参考文献

【捕食・植生破壊】

- ・ Invasive Species Specialist Group (ISSG) of the SSC- Species Survival Commission of the IUCN -International Union, Global Invasive Species Database (GISD)
- ・ 西川潮・東典子・佐々木進一・岡智春・井上幹生(2017) 西日本におけるマーモクレプス初記録と淡水生態系への脅威 . *Cancer* 26: 5-11.
- ・ 自然環境研究センター (編著) (2019) 最新 日本の外来生物 . 平凡社, 東京 . 591pp.

【ニホンザリガニとの競合】

中田和義・松原創 (2011) ザリガニ類の生態と保全. pp.176-199. in 川井唯史・中田和義 (編) . *エビ・カニ・ザリガニー淡水甲殻類の保全と生物学*. 生物研究社, 東京.

【病原菌等のキャリア】

- ・ Boucher, N., A. Elgin, (2020) *Faxonius limosus*: U.S. Geological Survey, Nonindigenous Aquatic Species Database, Gainesville, FL, and NOAA Great Lakes Aquatic Nonindigenous Species Information System, Ann Arbor, MI,
- ・ Edgerton, B. F. (2002) Hazard analysis of exotic pathogens of potential threat to European freshwater crayfish. *Bull.Fr. Peche.Piscic.* 367: 813-820.
- ・ Edgerton, B. F., P. Henttonen, J. Jussila, A. Mannonen, P. Paasonen, T. Taugbol, L., Edsman and C. Souty-grosset (2004) Understanding the causes of disease in European freshwater crayfish. *Conservation Biology*, 18(6): 1466-1474.
- ・ Martín-T, L., M. C. Llach, Q. P. Rovira, J. D.-Uribeondo (2017) Resistance to the crayfish plague, *Aphanomyces astaci* (Oomycota) in the endangered freshwater crayfish species, *Austropotamobius pallipes*. *PLoS ONE* 12
- ・ Mrugała A., Kozubíková-Balcarová E., Chucholl C., Resino S.C., Viljamaa-Dirks S., Vukiaë J. and Petrusek A., (2014) Trade of ornamental crayfish in Europe as a possible introduction pathway for important crustacean diseases: crayfish plague and white spot syndrome. *Biol. Invasions*, 16, 2489 – 2494.
- ・ Panteleit, J, Keller, NK, Kokko, H, Jussila, J, Makkonen, J, Theissinger, K and Schrimpf, A (2017) Investigation of ornamental crayfish reveals new carrier species of the crayfish plague pathogen (*Aphanomyces astaci*). *Aquatic Invasions* 12(1), 77–83.
- ・ Unestam, T. (1969) Resistance to crayfish plague in some American, Japanese and European crayfishes. *Report of the Institute of Freshwater Research Drottningholm*, 49: 202-209.